令和３年度（２０２１年度）学校アンケート結果分析

１月末から実施しました学校アンケートにつきましては、今年度初めてタブレットを使用したインターネット上でのアンケートといたしました。お忙しい中でご協力いただき誠にありがとうございました。結果の概要をお知らせいたします。（回収率約６８％）

〇生徒アンケートから（２年生のみなさんへ）

　全ての設問で肯定的回答（あてはまる・ややあてはまる）が７０％を超え、うち６設問では９０％以上の肯定的回答がありました。なかでも大きな変化であったのが、３年生同様に「少人数授業による学習意欲の高まり」についてです。今年度の２年生においては、英語科での少人数授業を実施しました。その結果、８３％以上の生徒が「学習意欲が高まった」と答えています。（１年生時との比較は＋３０ポイントになりました）今後も実施方法を改善しながら計画して進めます。

　昨年度より継続しているコロナ禍において、生徒どうしの関わりが制限されたこともありましたが、今年度後期から「自分たちが第三中の中心になっていく」という気持ちの変化が感じられ、「生徒会活動」や「学級活動」への参加意識も昨年度より＋１２ポイントの上昇がみられました。感染拡大防止と安全対策を継続しつつ、最上級生への進級を見据えた、誰もが輝ける場面を多く設定する学年をめざし、学校や学年、各教科での取組みの内容や実施方法を精選していきます。

　「宿題・課題・家庭学習の頑張り」については、残念ながら昨年度と横ばいです。一人一台タブレットの毎日持ち帰りが始まり、少しずつではありますが、データ化された課題やアンケートなどに取り組む機会を増やしています。中学校の学習において、家庭での復習時間が特に重要なことは言うまでもなく、今後も先生方全員で、宿題や提出物など課題の提示の仕方やその評価について研究を重ねていきます。生徒のみなさんも自分の学習時間や勉強方法を再度見直し、限られた時間を有効活用してください。